瑞穂区社協だより

みずほっと

2023.3月
第32号

ほっとくん

人々がつながり
地域に根を張り
その枝葉を
伸ばしていく

特集 自分のためにみんなのために いま学ぶべきこと

●瑞穂区でおこなわれた福祉教育実践

トピックス

●学区探訪 vol.6　瑞穂学区　●瑞穂区のほっとするお話
●こんにちは♪いきいき支援センターです !!　●HOTなきもち　●ほっとなつぶやき

■ 編集・発行／社会福祉法人 名古屋市瑞穂区社会福祉協議会　■ webサイト／ http://www.mizuho-shakyo.jp

高齢者や目の不自由な方にも専用のアプリで読み取ると本紙の内容を「音声で聞く」ことができる Uni-Voice コードを載せました。
お問い合わせは瑞穂区社会福祉協議会までご連絡ください。

Uni-Voice コード

特集

自分のためにみんなのためにいま学ぶべきこと

瑞穂区社会福祉協議会では、「お互いを認め合い、自分事としてとらえる“ともに生きる力”を学んでほしい。」という先生方とともに、当事者講師や地域ボランティアの方々にご協力をいただきながら、福祉教育を実践しています。

福祉教育ってこんなこと

地域の中には、自分とは違う様々な立場の人がいて、それぞれが自分らしく生きていくことのできる権利を持っています。自分もみんなも幸せになるためには、地域の中の誰かが困っていることを地域全体の課題として考えていくことが必要になってきます。

福祉教育は、自分とは違う立場の人と出会い、その人の生き様、生活の工夫、楽しみ、苦労、喜び、努力などを知り、共感しあい、ふれ合うことを通して自分自身の価値観を広げ、**一人ひとりの存在（自分の生命もふくめて）を大切にしあえるよう、みんなで考え、実行していく取り組み**です。

瑞穂区でおこなわれた福祉教育実践

先生方に体験後の感想、気づき等をお伺いしました。

小学校での活動

弥富小学校 5年生『地域高齢者・障がい者とのボッチャ交流体験』

福祉の話をきいたり、一緒にユニバーサルスポーツをしたりする体験を通して、子どもたちはだれもが楽しめるルールや道具の工夫に気付くことができました。

『だれもが楽しめる』『みんなにやさしい街になるように』自分のことだけでなく、周りの人のことも大事に考える、思いやりが育ってきています。（５年担任）

堀田小学校 6年生『高齢者疑似体験・講話・グループワーク』

今回の体験を通して、福祉に対する児童の考え方は大きく変わりました。自分たちにもできることがあることに気付き、小さなことから取り組むようになっています。相手のことを思いやる気持ちをより一層育むことができるすばらしい体験でした。（担任　辻先生）

汐路小学校 5年生『高齢者疑似体験』

子どもたちは、体験をすることで「階段があぶない」、「お年寄りの人の大変さが分かった」などの感想をもちました。体験後、「お年寄りの人とも支え合って生きていきたい」と振り返る子どもの姿が見られました。（５年担任）

御劔小学校 4年生『ボッチャ交流体験・障害者差別解消講座』

「福祉ってどんなことだろう？」言葉の意味は難しくても、子どもたちは、様々な障がいのある方たちとのボッチャ交流体験をすることで、「自分の身の周りに困っている人がいたら、すすんで助けられる人になりたい」と思いを持つことが出来ました。（４年担任）

※井戸田小学校５年生は、３学期体験予定です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

継続した福祉教育の流れ

一人ひとりの意識が変わる
体験や交流によって様々な立場の人の生活を**知る**

一人ひとりの行動が変わる
その人が持つ課題(悩みや困りごと)を地域の課題として**考える**

身近な地域が変わる
どうしていけばいいかをみんなで考え、みんなで**実践する**

やがてまちが変わる!

大学と高齢者はつらつ事業コスモスでの活動

名古屋市立大学１年『地域参加型学習』

医学部・薬学部・看護学部の3学部が合同し、９名が参加しました。コスモス体操、名古屋市立大学薬草園の訪問、山崎川沿いや東山荘のウォーキング、モルック、杉原千畝広場などの瑞穂区内をめぐるウォーキング・ラリーなどで楽しく活動させていただきました。また、グループ活動を通じて、メンバーの絆が深まったようです。（植田先生）

愛知みずほ短期大学１・２年『社会実践』

ボランティアは、「してあげる」「してもらう」の一方通行ではなく、互恵関係であることを学生、教員ともに知ってはいました。しかし、学生は「コスモス」に参加したことで、年齢や所属を超えたかかわりの温かさを身体で感じ取ったようです。大学としては、来年度もこの学びを広げ、深めていけたらと思っています。（永井先生）

中学校での活動

田光中学校 1年生『車いす体験・障害者差別解消講座』

車いすに乗る方からの体験談を、生徒が真剣な表情で聞くことができました。体験を通して、車いすに乗る方の大変さはもちろん、介助する方にも配慮すべき点がたくさんあることを学ぶことができ、とても有意義な時間となりました。
（担任　生駒先生）

瑞穂区社会福祉協議会での活動

心あたたまる作品展

この作品展は、児童・障がい者・高齢者のみなさんの絵画、書道、切り絵などを展示することにより、アートを通して多様性や共生社会について考える機会になればと思い企画しました。

各種ボランティア講座・体験

中・高校生が夏休みにボランティア体験をする『サマーボランティア体験講座』、瑞穂生涯学習センターと共催、瑞穂区聴覚障害者福祉協会の協力で全１０回コースで実施する『手話講座』、小・中学生が赤い羽根共同募金の体験をする『小・中学生のためのボランティア体験講座』など、様々な講座や体験活動を実施しています。幅広い世代の方々と一緒に、学びの機会を増やしていきたいです。

サマーボランティア体験講座

手話講座

小・中学生のためのボランティア体験講座

担当職員コメント

先生方の優しく熱心なご指導を受け、福祉教育を通して子どもたちの心が豊かに育っていると実感しています。また、この事業は、地域住民やボランティアをはじめ地域ボランティアグループかがやき、瑞穂区障害者自立支援連絡協議会当事者部会、瑞穂区障害者基幹相談支援センター、堀田デイサービスセンター、名古屋市障害者差別相談センター等にもご協力をいただき活動しております。いつもありがとうございます。

瑞穂学区地域福祉推進協議会は設立40年目に入ります。

学区探訪 Vol.6

瑞穂学区

食べる喜び、つながる笑顔

1984年から始まった「ひとり暮らし高齢者昼食会」。コロナで中断するまでの間、毎月１回、約200食の手作り料理を女性会や民生委員、PTA などが中心となり続けてきました。

継続の原動力になったのが「学び」です。献立や食材選び、調理など、多くの人が協力することでたくさんの知恵を共有する機会になりました。

もうひとつは「参加者の笑顔」。そのために、季節料理を提供したり、自宅から歩いて参加できるように３会場で開催をするなど、様々な工夫を凝らしました。『美味しかった。』『次回も楽しみにしている。』そんな声に支えられた35年間でした。

現在は感染対策のため、参加者が会場まで取りに来る弁当配付を続けています。お互いの顔を見られる場所づくりを続けることで、瑞穂学区推進協の目的「すべての住民が安心して暮らせる街を地域総ぐるみで推進する」を実現していきます。

市営瑞穂荘 昼食会

皆さんの元気なお顔を拝見し、笑顔を添えてお弁当を渡しています。

色とりどりのお弁当

ほっ 瑞穂区のとするお話

『中根の八幡社』をめぐりながら先人に思いをはせて

高齢者はつらつ長寿推進事業の仁所公民館会場の参加者と、歴史クイズ『みずほ検定』（瑞穂区役所発行）を行うとなんと大反響！学区には旧所名跡が沢山あるとのこと。さっそく『中根の八幡社ツアー』を企画し行ってまいりました！

散策ルート　西八幡社 ▶▶ 銅鐸の道 ▶▶ 北条八幡社 ▶▶ 東八幡社

西八幡社出発 START

高台にあり、荘厳な由緒ある印象、空気が美味しく感じました！

銅鐸の道めぐり

銅鐸の道に埴輪や銅鐸マークがあるのを発見！

黒松の枯木

北条八幡社

名古屋市指定文化財となっていた樹齢400年の黒松の枯木が祀られており、パワーを感じました。

東八幡社にて記念撮影！

秋祭りで行われる「見当流棒の手」が名古屋市の無形民俗文化財となっているそうです。神馬像が輝いていました。

神馬像

GOAL

近所にいても知らない場所もあり、思い出話にも花を咲かせながらみんなでウォーキングできました。楽しかったー！！

カシャ！

※詳しくは、瑞穂区HP（貝塚と城あとをしのぶみち）をご覧ください。

●区民の皆さまからのほっとする情報・お写真も募集しております。 担当：木村

こんにちは♪ いきいき支援センターです!!

その1 いきいき支援センターってなに?

私たちは、高齢者のみなさまがいつまでも住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員などの専門職がチームとなり、保健・医療・福祉など関係機関と連携をとりながら、福祉の相談・福祉サービスの調整などの支援を行っています。

その2 瑞穂区いきいき支援センター「公式 LINE」を開設しました

瑞穂区いきいき支援センターの公式LINEを開設しました。情報発信を目的として、様々なお知らせをお届けします。皆様の登録をお待ちしております。

登録はこちらから▼

アカウント名:瑞穂区いきいき支援センター　LINE ID:@974zvuwf

令和5年度 上半期(令和5年4月~9月)「認知症の人を介護する家族支援事業」のご案内

1 認知症家族教室 ※9月はお休み

対象：認知症の方を介護しているご家族

認知症の方を介護しているご家族は、いろいろと不安に感じたり悩んだりされることと思います。この教室では、認知症の知識を深め、介護者同士の交流をとおして、一人で悩まず介護できるようにお手伝いいたします。

東部 第2金曜日	西部 第3火曜日
10時00分~12時00分 ※5月のみ13時30分~15時30分 ※8月のみ第3金曜日	13時30分~15時30分

2 家族サロン

対象：認知症の方を介護しているご家族・介護経験のある方

認知症の方を介護しているご家族が、不安や悩み(たまにはグチも…)を自由に話し合える場です。介護や生活の情報を交換して、少しホッとしていただけるようお手伝いいたします。

東部 第1水曜日	西部 第4木曜日
13時30分~15時30分 ※5月のみ第2水曜日	13時30分~15時30分

3 もの忘れ相談員による専門相談

対象：もの忘れのことで不安のある方・ご家族

もの忘れ相談医とは、認知症診断の知識・技術、ご家族からの悩み等の相談に応じるための研修を修了している、地域の専門医師のことです。その医師と認知症の症状や治療について気軽に個別相談できる場です。

東部 第2木曜日	西部 第4水曜日
13時30分~15時00分	13時30分~15時00分

お問い合わせ先・申込先

●瑞穂区東部いきいき支援センター　電話 858-4008　FAX 842-8122

●瑞穂区東部いきいき支援センター分室　電話 851-0400　FAX 851-0410

担当地域　豊岡・中根・弥富・陽明・汐路小学校区

●瑞穂区西部いきいき支援センター　電話 872-1705　FAX 872-1707

担当地域　御剱・高田・堀田・穂波・井戸田・瑞穂小学校区

※新型コロナウイルス感染症の状況により、事業を中止する場合がございます。予めご了承ください。

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金にご協力いただき、ありがとうございました！

令和４年度　最終実績額　6,838,844円

●一般募金 … 6,573,624円　●歳末たすけあい募金 … 265,220円

今年度もたくさんのご協力ありがとうございました。集まった募金は、瑞穂区と愛知県の福祉活動に活用させていただきます。

イベント募金へのご協力ありがとうございます！

コロナの影響が続く中ではありますが、地域や関係者の皆さまのご協力により、各種イベントに参加させていただきました。

10/1・2	名古屋女子大学大学祭　ブース出展
10/10	田光神社　秋まつり
10/29	豊田スタジアム　ブース出展
11/20	瑞穂区民まつり　ブース出展　など

上記の他、各種団体の会議やイベントの受付で募金箱を設置いただいています。

募金の方法が増えています！

新たに auPAY からも募金ができるようになりました。是非、ご活用ください！

スマホからも、募金できます。

auPAY は、こちらから!!

HOTなきもち

本会にご寄付いただき、ありがとうございました。

（令和4年6月～令和4年11月）
※順不同

寄付金

- 名古屋ヤクルト販売株式会社 様
- 福島 佐千男 様
- 匿名　２名

※お寄せいただいた寄付金は本会地域福祉基金等として受け入れ、その果実（利息）により、各種社会福祉事業の実施等、地域福祉の推進に活用させていただいております。

寄付物品

- 液晶モニター　ブラザー販売株式会社 様
- 餃子　株式会社 STAR-M 様
- 車いす　宮崎 徹 様
- 毛糸　小野田 美代子 様
- その他、食料品等

※寄付物品につきましては、本会事業に活用させていただきます。

瑞穂区社会福祉協議会

Facebook／YouTube 配信しています！

Facebook　YouTube

ほっとなつぶやき　編集後記

「地域福祉は、福祉教育で始まり、福祉教育で終わる」とも言われています。
社協が学校で福祉教育を進める上で、生きた地域社会の生活実態に触れ、命の大切さや思いやりなど、学生の感性をかみ合わせることから出発し、共に生きるという主体的な力を育めるように取組んでいきたいと思っています。

編集・発行
社会福祉法人
名古屋市瑞穂区社会福祉協議会
〒467-0016 名古屋市瑞穂区佐渡町3丁目18番地
電　話　(052)841-4063
FAX　(052)841-4080
webサイト　http://www.mizuho-shakyo.jp
メールアドレス　mail@mizuho-shakyo.jp

最寄駅　地下鉄 桜通線瑞穂区役所駅 下車260m（区役所東方面）